

令和7年度「富山県安全なまちづくり推進本部」会議次第

日時:令和7年12月16日(火) 16:00~17:00

場所:県民会館 611 会議室

1 開 会

2 本部長(知事)あいさつ

3 説明事項

(1) 富山県の犯罪情勢について

(2) 安全なまちづくりの取組み状況及び今後の方向等について

4 意見交換

5 閉 会

R7 安全なまちづくりの取り組み状況及び今後の方向等について

参考資料 1

取 組 み 状 況

今 後 の 方 向 や 取 組 み

地域ぐるみの 防犯活動の推進

安全なまちづくりを担う 人材育成

子どもの 安全対策

高齢者の 安全対策

県民の 意識高揚

- 地区安全なまちづくり推進センター活性化事業(H18～)
 - ・H17:0カ所 → R7:233カ所
 - ・補助1～3年目:5万円、4年目～:3万円(令和7年度分限り5万円)
- 青色パトロール活動支援事業(H21～)
 - ・青色回転灯装備車(青パト)登録台数 H16:5隊 13台 → R6:152隊 633台
 - ・補助年間1台1万円(令和7年度分限り年間1台2万円)
- 安全安心見守りカメラ事業(R5.10～)
 - ・町内会等への防犯カメラの貸出し
- ながら見守り活動の推進(H30.10～)
 - ・日常生活や事業活動を通じて子供等を見守る活動
- 地域ぐるみの効果的な防犯活動の普及促進(R2.9～)
 - ・「ホットスポット・パトロール」実地調査(県内14市町村実施済み)



- 民間防犯パトロール隊
 - ・H16:124隊 6,689人 ⇒ R6:527隊 31,080人
- 「富山県安全・安心アカデミー」の開講(R4～)
 - ～R7延べ約300名参加～
 - ・防犯ボランティアの人材育成のため、防犯講座等の開催
 - ① 防犯講座:4月22日(第1回)、6月30日(第2回)
 - ② ワークショップ:7月5日(第1回)、8月26日(第2回)
 - ③ ホットスポット実地調査:7月26日(舟橋村、上市町)
 - ④ ワークショップ結果:県HPに掲載



第1回ワークショップ

- 学校安全パトロール隊
 - ・R7:455隊 26,982人
- 学校、家庭及び地域の連携による安全教育
 - ・防犯教室や安全教育の指導者に対する研修会を実施(防犯指導者講習会 R7.10)
- 通学路における合同点検の実施
 - ・各市町村において、市町村通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携し、定期的に合同点検のうえ、歩道の設置、路肩の拡幅等の対策を実施・検討(H25～)
 - ・R3.6月に千葉県八街市で発生した児童死傷事故を受けて、学校、市町村教委、PTA、道路管理者及び地元警察署による合同点検を実施(R3.7～)
- 幼稚園や保育所等における送迎時の安全対策
 - ・全ての送迎バスに置き去り防止を支援する安全装置の装備
- 特別支援学校通学バス安全・防犯対策
 - ・県立特別支援学校の全ての通学バスに置き去り防止を支援する安全装置の装備、防犯備品の配備
- 通学路における子どもの安全確保対策
 - ・声掛け等の前兆事案の早期解決を図るため、可搬式捜査カメラを設置
- 交通安全施設(信号機)の改良
 - ・自動車・歩行者用信号灯器の視認性向上のため、LED式信号灯器の整備

- 特殊詐欺被害ゼロ地区運動(H30.8～)
 - ・運動期間中(8～12月)に被害ゼロを目指す運動
- 高齢者の交通事故防止対策
 - ・サポカー体験型高齢者交通安全教室の開催
 - ・シルバードライビングスクールの開催と交通安全教育車を活用した参加・体験・実践型の交通安全教育の推進
- 農業用水路における転落事故防止対策(R2～)
 - ・転落防止柵等を設置するハード対策や看板等の用水路の視認性を高めるセミハード対策を地域の合意に基づき実施
 - ・地域内の危険箇所を再認識し、情報を共有するワークショップや高齢者の事故が多いことから、高齢福祉担当部局と連携した広報活動等のソフト対策を実施
- ツキノワグマによる被害防止対策
 - ・出没警報及び注意喚起等の発信、クマの捜索体制・警戒パトロールの強化
 - ・関係機関との連携強化・支援、緊急銃猟訓練の開催
 - ・クマの追払い・捕獲等をサポートする県被害防止専門チームの設置、緩衝帯の整備等



- 安全なまちづくり推進大会の開催
 - ・安全なまちづくり・とやま賞等による顕彰(R7.10.6)
- カギかけ防犯推進事業
 - ・SNSによる広報啓発

- 地区安全なまちづくり推進センターの設置促進
 - ・地区安全なまちづくり推進センターへの支援・設置促進
 - ・青パトの配備促進と活動支援
- 地域防犯活動の活性化
 - ・県民、事業者、各種団体等と連携した防犯活動の推進
 - ・防犯活動を取り巻く課題の解決等による地域防犯力の強化推進
 - ホットスポット・パトロール手法の普及促進等を図り、防犯上の課題の発見、解消等による地域防犯力の強化を推進
 - ・事業所や高校生・大学生に対する「ながら見守り」等防犯活動への多様な参加形態の推奨



- 富山県安全・安心アカデミーの充実
 - ・知識・技能の横断的、総合的な習得が可能な防犯講座の開催
 - ・担い手の育成と裾野の拡大、後継者の育成



上市町実地調査

- 学校安全パトロール隊の活動への支援
 - ・学校安全パトロール隊による子どもを見守る取組みを支援
 - ・スクールガード・リーダー(R7:警察OB等10名)による指導、助言等
- 子ども110番の家等の充実
 - ・各小学校区で、PTA、地区防犯協会、自治振興会が実施主体となり設置
- 通学路等の安全確保
 - ・歩道の設置、路肩の拡幅、カラー舗装化等
- 生活道路における安全対策の推進
 - ・「ゾーン30プラス」の推進
- バス運行における安全対策の推進
 - ・安全管理マニュアルの遵守等

- 特殊詐欺等の被害防止対策の推進
 - ・被害防止に向け県民、事業者等が一体で取り組む
- 高齢者の交通事故防止対策の推進
 - ・交通安全アドバイザーによる高齢者宅訪問
 - ・高齢者に対する交通安全教育・啓発活動
- 農業用水路転落事故防止に向けた安全対策の推進
 - ・安全面と営農面を考慮した地域の合意に基づく安全施設を整備
 - ・高齢福祉担当部局や富山県警察等の関係機関と連携した広報活動を行い農業用水路の必要性和危険性を認識してもらい、事故防止への行動変容を促すソフト対策の実施
- ツキノワグマによる被害防止対策の推進
 - ・関係機関との連携やクマの注意喚起等の発信
 - ・クマを引き寄せない、クマに出遭わないための対策の推進
 - ・出没時対応の体制強化、人材育成



だまされんちゃ！官民合同会議

- 安全なまちづくり推進大会の開催
 - ・安全なまちづくり推進に貢献した団体・個人への表彰
- カギかけ防犯対策の推進
 - ・啓発物品の提供、キャンペーン等の実施等



カギかけキャンペーン開始式



第21回富山県安全なまちづくり推進大会
第32回全国地域安全運動富山県民大会
(R7.10.6:富山県民会館)

＜県内の刑法犯認知件数＞
昨年は前年と比べて増加したが、
H13ピーク時から約1/4まで減少
H13:17,660件⇒R6:4,991件
(R6/H13=28.3%)
R5:4,501件⇒R6:4,991件
前年比+490件(+10.9%)

日本一
安全で安心な
県をめざして



年末特別警戒(R7.12.1)

＜県内の交通死亡事故死者数＞
昨年の死者数は前年と比べて9人減少

○交通事故死者数(うち高齢者(65歳以上))
R5:31人(18人)構成率58.1%
R6:22人(16人)構成率72.7%
前年比-9人(-2人)
増減率-29.0%(-11.1%)

△14.6%